

都技生涯研修 応用講習会Ⅱ

〔重要なお知らせ〕

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士

〔申込開始日〕

- 東京都歯科技工士会会員 : 8月27日(木) AM10時～
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 8月29日(土) AM10時～

* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

〔申込方法〕

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

* 定員になり次第締切といたします。

〔LINE 公式アカウント登録のお願い〕

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



申込用



都技LINE公式
アカウント二次元コード

〔お問い合わせ〕

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィッパ大塚香川ビル4F

e-mail: togi-info@to-ginet.com

2026 年度 応用講習会Ⅱ

ハイブリッドセミナー

平均値を活かした総義歯製作と ゴシックアーチトレーサーによる咬合の可視化

福中 景一郎 先生

誰もが安心してスポーツを続けるための カスタムマウスガードの設計と未来への可能性

中原 浩介 先生 (歯科工房えん)

パーシャルデンチャー設計への 歯科技工士の介入

古賀 智也 先生 (合同会社DentLab)



Tokyo master course Science Lecture

* 本講演は、講師が福岡よりリモートにて配信いたします。
講師の都技会館へのご来場はございませんので、あらかじめご了承ください。

〔開催日時〕
2026年 9月27日 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

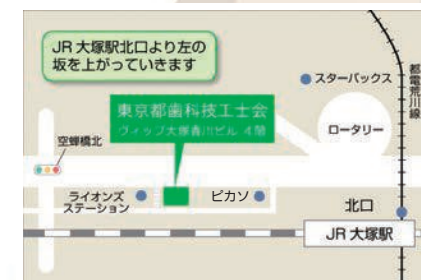
オンライン

定員 80名 参加費 無料

会場受講

定員 30名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィッパ大塚香川ビル4F

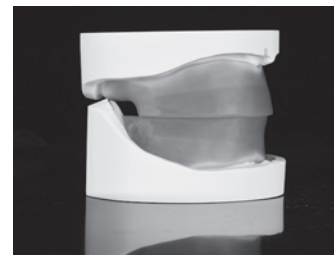


一般社団法人 東京都歯科技工士会

平均値を活かした総義歯製作と ゴシックアーチトレーサーによる咬合の可視化

近年、デジタルデンチャーの発展が著しい中、総義歯製作においては、平均値に基づいた顎間関係の把握と、調整の少ない咬合床が重要であると考えます。本講演では平均的な歯列ポジションを導き出すための基礎的な考え方に加え、ゴシックアーチトレーサーを用いることでドクターと技工

士間における共通認識を可視化し、より精度の高い咬合採得へとつなげる方法についてお話させていただきます。総義歯製作をこれから学びたい方、クラウンブリッジを主軸に日々の臨床を行われているテクニシャンの先生方に、ぜひご聴講いただきたい内容となっております。

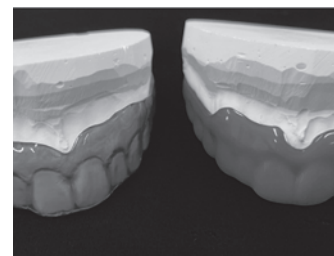


誰もが安心してスポーツを続けるための カスタムマウスガードの設計と未来への可能性

近年、益々健康志向の高まりによって、小さな子どもから高齢者まで、プロ・アマ問わず多くの人がスポーツを楽しむ機会が増えています。それに伴い、口腔外傷や脳震盪、転倒などのケガも増加しており、スポーツマウスガードがそれを防ぐ重要な役割を果たしています。スポーツマウスガードの製作において、多種多様な機材・材料選びから設計、細かな調整までの確に行うこと、装着者が出来る限り違和感なくプレーに集中できるような形態や咬合の付与を心がけることが重要です。また、競技別のレギュレーションを守ること

も非常に重要であり、歯科技工士でもアスリートに関わる以上、知らなかったでは済まされないこともあり、自らがアスリートアントラージュの中にいる事をきちんと認識しなければなりません。

歯科医師が口腔内だけでなく全身のバランスを考慮して診断し、必要に応じて調整を加えてから患者に渡します。このプロセスは、歯科技工士だけでなく、歯科医師を含め、チーム全体で継続してサポートし、患者の未来を見据えて、続けていくことが大切です。



パーシャルデンチャー設計への歯科技工士の介入

近年、無歯顎補綴領域においてデジタル技術の導入が進み、模型や咬合床をスキャンし、デジタル上で義歯設計を行う機会が増加している。しかし、製作工程がデジタル化されても、義歯設計の基盤となる解剖学的指標や模型分析の重要性は変化しない。顎堤形態や顎堤頂間関係、各種解剖学的ランドマークの評価は、アナログ・デジタルを問わず義歯製作において必要な情報である。一方、デジタルワークフローにおいて取得可能な情報は、主として上下無歯顎模型および咬合採得後の顎間関係に限られ、アナログ製作時に術者が評

価していた顔貌情報は直接デジタルデータとして取り込まれない場合が多い。特に前歯部排列では、口唇支持、正中線、切縁位置、口角支持などの顔貌情報が審美性や機能性に大きく関与する。したがって、デジタルデンチャー製作においては、解剖学的指標を基盤とした模型分析能力に加え、アナログ製作時に評価していた顔貌情報を設計へ反映する知識と診断的視点が必要である。

本発表では、アナログ知識を活かしたデジタルデンチャー製作について考察する。



■講師略歴

福中 景一郎 [ふくなか けいいちろう]

略歴

2004年 新大阪歯科技工士専門学校 卒業
2014年 デンタルラボ大福 開業
2020年 医療法人社団佑健会 CRAFTZERO 入社
2024年 大福ギシ製作所 開業

所属学会

■有床義歯学会
■日本補綴歯科学会



■講師略歴

中原 浩介 [なかはら こうすけ]

歯科技工房えん（佐賀県）

略歴

2003年 九州医療専門学校・歯科技工士本科 卒業
2004年 九州医療専門学校・歯科技工士専攻科 卒業
2017年 歯科技工房えん 開設

所属学会等

■佐賀県スポーツ歯科協議会 理事
■日本スポーツ歯科医学会
■日本顎咬合学会
■有床義歯学会
■北海道健康スポーツ歯学研究科



■講師略歴

古賀 智也 [こが ともや]

合同会社DentLab

略歴

2003年 九州医療専門学校 卒業
2012年 徳島大学歯学部 解剖学履修生
2016年 DentLab 開設
2022年 合同会社DentLab 設立

所属学会

■日本顎咬合学会 認定技工士
■有床義歯学会 認定技工士
■日本補綴歯科学会

